

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイール稲毛		
	2026年2月3日	～	2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月28日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問の記録の充実化	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先での出来事を順序立てて細かく記載することができる。 ・保護者にも関係機関にも共有することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録で伝えられなかったものに関してはLINEで共有する。 ・関係機関に関してはフィードバックの時間に伝えるように心がける。
2	目標の共有を図れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・通所と保護者だけでなく三者の連携を図り、支援内容を統一することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員が関係機関との橋渡しをしてくれる為、保護者の気になる部分を的確に伝えられるよう、児発管が積極的にコミュニケーションを取り、三者で支援の方法を一本化していく。
3	訪問先との日程調整などの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の困り事、訪問先施設の要望などを聞き、訪問行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先や保護者、双方の要望を聞き入れながら訪問日について調整をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の少なさ	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で稼働できる訪問支援員の数がかなり少ない状態になっている。 ・各事業所に一人か二人はいないと回すのが難しい。数もこなすことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人に必要な支援を行うためには、どうしても母数と定着は必須になってくる。訪問支援の魅力や必要性を発信していくことで母数獲得し、訪問支援員の数を増やす。
2	保護者との交流の少なさ	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会やペアトレなどは存在していないこと ・いい意味でも悪い意味でもデジタル化で面談も電話が多く顔を合わせた会話が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援がこの仕事において必要不可欠。 ・より保護者との関係を気づくためには、もっとコミュニケーションが取れるように働きかける必要がある。またそういった機会を作っていく必要があるのではないかと感じる。
3	関係機関とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのニーズがあっても、関係機関としては、必要性を感じないと、関係構築にかなり時間がかかったり、意見の共有も難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを的確にとらえて共有できるように準備を行い、保護者のニーズを保育所に納めていただける形で伝える。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ジョイール稲毛

公表日 2026年3月30日

利用児童数 16

回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			4		訪問支援で使うものについては予め訪問支援が開始される前に説明を行います。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6			2		個室での面接ができるように配慮を行います。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6				2	学校の先生からの意見を訪問支援員から確認をし、支援計画に反映させます。また反映した箇所に関しては細かく保護者にお伝えするようにします。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6				2	学校の先生とコミュニケーションをとって、支援のやり方や観察の仕方を決めています。
保 護 者 へ の 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7			1		モニタリングの際により細かく、支援計画を提示して保護者に伝えるようにします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1		4		ペアレントトレーニングに関しては1度も開催したことがなかったため、会社全体で行えるかどうか協議し、必要に応じて行うようにします。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8						

明 等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			1	迅速に対応ができていない場面も多い為、今後も引き続き行っていきます。また訪問支援で見てきてほしいことに関しては保護者の意見を聞き、迅速に関係機関に共有できるようにします。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7	1				訪問先とは、密にコミュニケーションが取れているため、引き続き対応を行っていきます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5	1		2		フィードバックを支援の終わりに必ず行えるように時間や日程を合わせて行います。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8					
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1		1		公式LINE等での案内は積極的に行っています。SNSに関してはブログやInstagramなどの公式アカウントはないため、できる範囲でのSNS活動を行って行きます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	1		3		訪問先と共有をしたことは保護者の方にも共有できるようにしていきます。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		2		上記と同じく対応事項は決まり次第保護者に報告をします。
	27	子どもは訪問支援を嫌がりませんか。	7			1		訪問支援を行う際に、保護者だけでなく、対象の児童にもわかりやすく目的を伝え、本人の気持ちを優先して行うようにします。
	28	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年3月30日

ジョイール稲毛

利用児童数 16

回収数 9

	チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえなし	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイール稲毛での様子や取り組みも交えながら話を聞かせていただいて、わかりやすかった。 ・大変わかりやすいです。 ・事業所での様子をわかりやすく教えて頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の先生方とお話をする際は、施設できている事やうまくいったことを説明し、学校でできる可能な合理的配慮に関して提案をします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧に声かけ、支援してくださっています。 ・温かい指導を感じております。 ・問題行動に関しての情報共有をする的確な助言をいただけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して行っていきます。先生方の行っている支援に対しては意見を尊重しつつ、的確な提案ができるように日頃の通所での様子を共有します。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・学校での様子から質問した際も、丁寧に答えて頂いた。 ・とても適切です。 ・園児の現状と照らし合わせ、専門的な支援の提供をいただけた。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援後のフィードバックに関しては今後も徹底して行い、訪問先の方々に理解してもらえるような内容で助言が行えるようにします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	3		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に生き生きと取り組むことができていました。 ・いつも解消されています。 ・専門的視点での提案を保育に取り入れた事で、該当児の困りが減ったり、指示が伝わりやすくなった。 ・特性に対する支援はしていますが、改善が難しいところもあります。 ・個別対応時と園生活では子どもの様子が違うのでなんとも言えません 	<ul style="list-style-type: none"> 改善が難しい場面のつらにある原因を訪問支援員だけでなく、通所に持ち帰って、あらゆる方面からのアプローチ方法がないかを検討します。少しでも改善に向かっていくようにサポートを行っていきます。また集団と個別での違いもある為、集団でできることできないことをブラッシュバックし、いい支援方法がないかをりーむで考え共有します。
5	事業所からの支援に満足していますか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・回数が少なかったため物足りなさも少しありますが、その中でもためになるお話を聞かせていただき、有意義なものとなりました。 ・大変満足しております。 ・正直、必要があるかどうか疑問です。 	<ul style="list-style-type: none"> 回数に関しては、施設等や保護者とも話し合いを行い調整する必要があると思います。また、必要なのかそうでないのかも適宜判断する必要がある為、定期的な支援会議も必要かと思っています。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・細かな配慮等本当にありがとうございます。 ・支援していただいた児童の伸びがはっきりと分かり、いつもとても有り難いです。今後も引き続き同じ方をお願いしたいです。 ・訪問支援をお受けする事業所が増えていて、日程調整が大変です。また、担任の負担は大きいです。 					<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要な児童に必要な支援を行っていくことが大切になってくると考えます。訪問先の同意を得るためにはより具体的に何に困りごとがあるのか、どういうニーズがあるのかをより具体的に考えて共有をする必要があると思います。 訪問先の先生方にわかりやすく、説明ができるように準備を行います。 合理的配慮に関しては、できるだけなぜそれが必要なかを明確にし、訪問先に伝えられるようにします。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジョイール稲毛		公表日 2026年3月30日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
営 現 場 制 度	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		・視覚支援のモデルツールなどを提供	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		訪問支援員の数が圧倒的に足りていない。 できるなら事業所間でできるようにしたい。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	月2回ほどのMTGは開かれている	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・訪問支援の様子をスプレッドシート上で共有している ・訪問支援員と連携できている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	2		訪問支援に関する研修は見たことがない。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		責任者と訪問支援員同士で連携しながらできていると思う	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		訪問支援員が的確な支援方法を考えてくれている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	1	基本的には訪問支援員が学校と連携し聞いたことを共有している	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		支援が必要な児童には的確にツールを用いて対応ができていたり、訪問先にも共有ができています	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1		把握できていない
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		基本的には行っていない。 終わった後の共有事項を確認して、必要があれば支援内容に提案をする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1		どうしても訪問支援員が参加できない時もある為、児発管が代わりに参加をすることがある。その場合は事前にモニタリングを行っていくようにしている。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	2		特に関わりはない。 福祉機関との連携はとることができている
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	移行の際には支援会議を行っている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	2		訪問支援の研修に関しては、ほとんどできていない
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3		参加していない
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		基本的には行っていない。 保護者との関係構築は行っているが、ペアレントトレーニングはつながっていない
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		父母の会に関しては今のところ行う予定がない為、必要があれば会社全体で協議をする必要がある
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		訪問支援に関してはMEO投稿などは行っていないので今後取り入れてもいいかと思った
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			封筒に入れて見えないように共有している
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		
38		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		訪問先との連携は問題なく取れているため引き続き関係構築を行う	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		訪問支援に入る前に、対応方法については細かく話あってから支援に入るようにしているため、問題なく計画に反映することができているように感じる	